

2019年11月第2四半期（第50期）

決算説明補足資料

株式会社 **ティムコ**

2019年7月号 ①

も く じ

- ・ 比較貸借対照表 1
- ・ 比較損益計算書 2
- ・ 売上高の内訳 3
- ・ 業績推移と当期予想 5
- ・ 市場の動向について 7
 - （ ・ アウトドア関連市場の動向
 - ・ 釣用品市場の動向

会社名	株式会社ティムコ
JASDAQ上場	1996年（平成8年）6月18日
証券コード	7501
URL	http://www.tiemco.co.jp

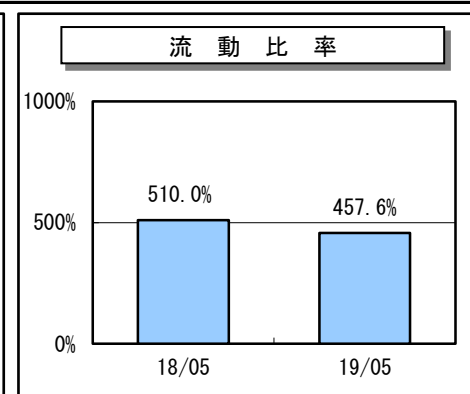
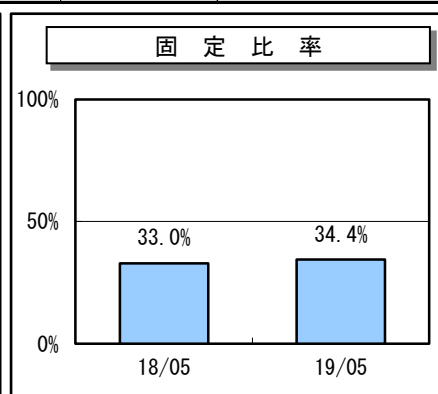
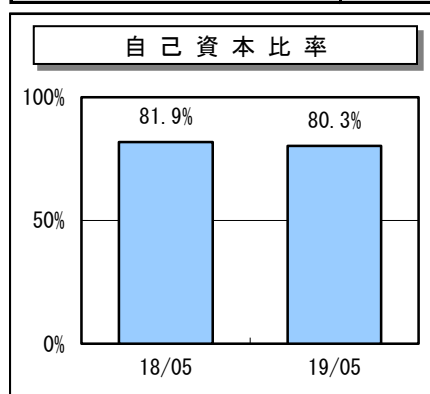
当資料に関するお問い合わせ

株式会社ティムコ 社長室
 東京都墨田区菊川3-1-11 〒130-8555
 TEL(03)5600-0122 FAX(03)5600-0302

比較貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目	第49期 第2四半期末 2018年5月31日 現在	第50期 第2四半期末 2019年5月31日 現在	増減	備考
資産の部				
現金及び預金	2,141,436	2,098,775	-42,661	債権債務増減により増加した一方、有価証券購入により減少 売上高減少による売上債権等の減少。 仕入の増加と売上減少による増加。
受取手形及び売掛金	653,726	592,708	-61,018	
有価証券	-	-	-	
商品及び製品	1,475,908	1,602,061	126,152	
その他	42,661	45,443	2,782	
貸倒引当金	-2,717	-1,991	725	
流動資産合計	4,311,016	4,336,997	25,981	
建物	566,633	547,682	-18,951	減価償却の実施による減少。
土地	653,376	653,376	-	
その他	23,194	17,000	-6,194	その他固定資産等の減価償却実施による減少。
有形固定資産合計	1,243,204	1,218,059	-25,145	
無形固定資産合計	29,420	14,896	-14,523	ソフトウェア、リース資産(無形)等の償却による減少。
投資その他の資産合計	321,553	423,077	101,523	有価証券の購入等による増加。
固定資産合計	1,594,178	1,656,032	61,853	
資産合計	5,905,194	5,993,029	87,834	
負債の部				
支払手形及び買掛金	670,170	786,812	116,642	アウトドア用品を中心とした仕入の増加による。 リース債務償還等による減少。
未払法人税等	28,747	30,396	1,648	
返品調整引当金	13,781	11,788	-1,992	
その他	132,548	118,794	-13,753	
流動負債合計	845,248	947,792	102,544	
退職給付引当金	138,850	147,647	8,797	
その他	85,002	85,444	442	
固定負債合計	223,852	233,092	9,239	
負債合計	1,069,100	1,180,884	111,783	
純資産の部				
資本金	1,079,998	1,079,998	-	配当金支払等による減少。
資本剰余金	3,861,448	3,861,448	-	
利益剰余金	356,320	338,054	-18,265	
自己株式	-478,033	-478,034	-	
株主資本合計	4,819,733	4,801,467	-18,265	
評価・換算差額等合計	16,360	10,677	-5,682	
純資産合計	4,836,094	4,812,145	-23,948	
負債純資産合計	5,905,194	5,993,029	87,834	
自己資本比率	81.9%	80.3%	純資産合計 ÷ 資産合計 × 100(%)	
固定比率	33.0%	34.4%	固定資産 ÷ 純資産合計 × 100(%)	
流動比率	510.0%	457.6%	流動資産 ÷ 流動負債 × 100(%)	

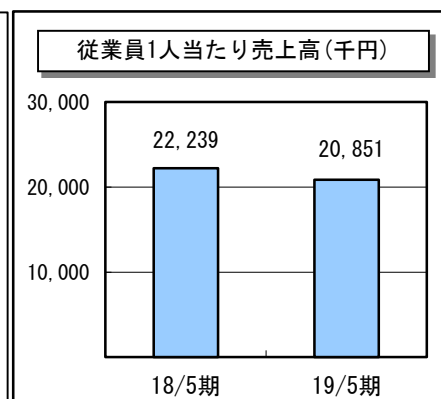
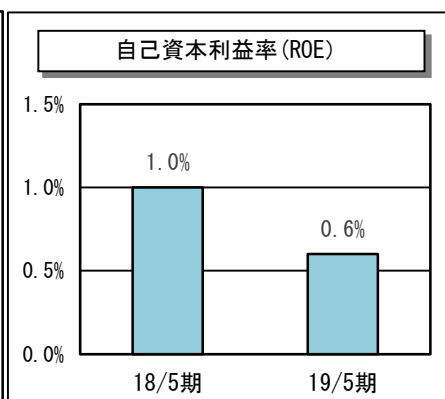
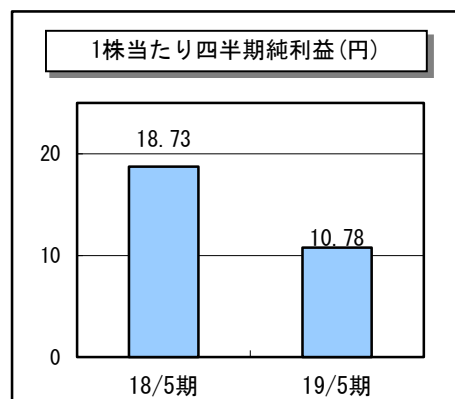


比較損益計算書



(単位：千円)

勘定科目	第49期		第50期		増減		備考
	2018年5月第2四半期		2019年5月第2四半期				
	金額	百分比	金額	百分比			
売上高	1,578,969	100.0%	1,522,167	100.0%	-56,802	-3.6%	<p>■ 売上高 当第2四半期累計期間(自2018年12月1日至2019年5月31日)における日本経済は、中国などの海外経済やIT関連需要の減速による影響が中小企業にも波及したことで、製造業を中心として景況感を下押しする形となりました。個人消費は、大型連休の特需などが消費の押し上げ要因となる一方で、日用品や衣料品などの販売が足踏み状態となるケースもみられました。当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場とも、全般に消費の力強さを欠く展開となりました。このような状況の中、当社では収益増加に向けた取り組みを行ってまいりました。しかしながら、折からの消費の停滞や天候不順の影響を受け、当期の売上高は15億22百万円(前年同期比3.6%減)となりました。</p> <p>■ 営業利益～四半期純利益利益 また、営業力強化に向けた取り組みのため、人件費や宣伝広告費等の経費が増加した影響も重なり、営業利益は38百万円(前年同期比37.5%減)、経常利益は41百万円(前年同期比35.8%減)、四半期純利益は26百万円(前年同期比42.5%減)となりました。</p>
売上原価	859,103	54.4%	825,696	54.2%	-33,406	-3.9%	
売上総利益	719,866	45.6%	696,470	45.8%	-23,396	-3.3%	
返品調整引当金戻入額	27,576	1.7%	32,533	2.1%	4,957	18.0%	
返品調整引当金繰入額	13,781	0.9%	11,788	0.8%	-1,992	-14.5%	
差引売上総利益	733,660	46.5%	717,215	47.1%	-16,445	-2.2%	
販売費及び一般管理費	671,758	42.5%	678,530	44.6%	6,771	1.0%	
営業利益	61,902	3.9%	38,685	2.5%	-23,217	-37.5%	
受取利息	612	0.0%	780	0.1%	168	27.5%	
受取配当金	573	0.0%	655	0.0%	82	14.3%	
為替差益	1,435	0.1%	1,372	0.1%	-63	-	
その他	571	0.0%	311	0.0%	-260	-45.6%	
営業外収益	3,192	0.2%	3,119	0.2%	-73	-2.3%	
営業外費用	37	0.0%	6	0.0%	-31	-83.9%	
経常利益	65,057	4.1%	41,798	2.7%	-23,259	-35.8%	
特別利益	-	-	-	-	-	-	
特別損失	280	0.0%	0	0.0%	-280	-	
税引前四半期純利益	64,777	4.1%	41,798	2.7%	-22,979	-35.5%	
法人税、住民税及び事業税	13,077	0.8%	12,080	0.8%	-997	-7.6%	
過年度法人税等	-	-	2,741	0.2%	2,741	-	
法人税等調整額	5,302	0.3%	290	0.0%	-5,012	-94.5%	
四半期純利益	46,396	2.9%	26,685	0.0%	-19,711	-42.5%	
純資産合計	4,836,094 千円		4,812,145 千円		-23,948 千円		
発行済株式総数	3,339,995 株		3,339,995 株		- 株		
発行済株式総数(除自己株式)	2,476,551 株		2,476,550 株		-1 株		
期中平均株式数	2,476,550 株		2,476,550 株		- 株		
1株当たり四半期純利益	18.73 円		10.78 円		-7.96 円	四半期純利益÷期中平均株式数	
1株当たり純資産	1,952.75 円		1,943.08 円		-9.67 円	純資産÷発行済株式総数(除自己株式)	
自己資本利益率(ROE)	1.0%		0.6%		-0.4 ポイント	四半期純利益÷第2四半期末の自己資本	
第2四半期末従業員数 (役員及び臨時従業者を含む)	71 人 (172) 人		73 人 (177) 人		2 人 (5) 人	役員及び臨時雇用者含む	
従業員1人当たり売上高	22,239 千円		20,851 千円		-1,388 千円	売上高÷第2四半期末従業員数	
減価償却費	34,538	2.2%	34,551	2.3%	12	0.0%	



売 上 高 の 内 訳

■ 事業セグメント別売上高

(単位：千円) < 解 説 >

セグメント	第49期(2018/5期)		第50期(2019/5期)		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
(フィッシング事業)						
ルアー用品	197,080	12.5%	167,932	11.0%	-29,148	-14.8%
フライ用品	265,949	16.8%	261,781	17.2%	-4,168	-1.6%
その他フィッシング用品	78,139	5.0%	61,475	4.1%	-16,664	-21.3%
計	541,169	34.3%	491,188	32.3%	-49,980	-9.2%
(アウトドア事業)						
アウトドア衣料	859,638	54.4%	873,364	57.4%	13,725	1.6%
その他アウトドア用品	162,048	10.3%	141,261	9.3%	-20,786	-12.8%
計	1,021,687	64.7%	1,014,625	66.7%	-7,061	-0.7%
そ の 他	16,113	1.0%	16,353	1.0%	239	1.5%
合 計	1,578,969	100.0%	1,522,167	100.0%	-56,802	-3.6%

■フィッシング事業
ルアー用品は、ロッド等の高単価商品の販売が低迷。フライ用品は、早期実施した新製品投入や動画配信等により、売上高は堅調な立ち上がりを示しましたが、3月以降は河川の渇水の影響等もあり、販売が低迷しました。

■アウトドア事業
前期の記録的な気温低下に比べ暖冬傾向となった反動も加わり、ジャケット等の防寒重衣料の販売が低調に推移いたしました。また、春夏物は春季の気温低下等により、全般に衣料品の消費が停滞いたしました。

■ 販売経路別売上高

(単位：千円)

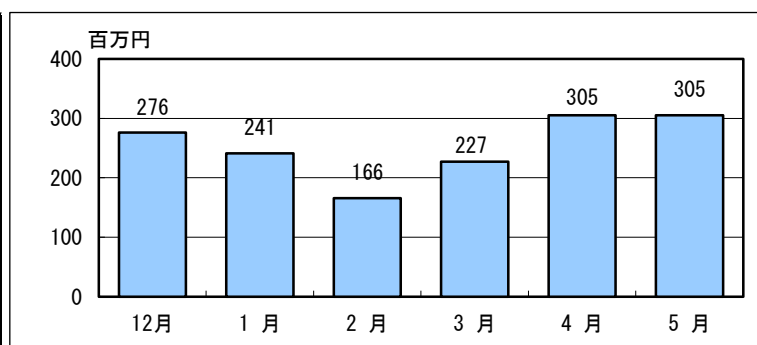
販 売 経 路		第49期(2018/5期)		第50期(2019/5期)		前年同期比	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
国 内	当社 → 卸売店 → 小売店 → 消費者	181,629	11.5%	175,583	11.5%	-6,045	-3.3%
	当社 → 小売店 → 消費者	1,288,623	81.6%	1,240,130	81.5%	-48,492	-3.8%
	当社 → 消費者	18,611	1.2%	25,669	1.7%	7,057	37.9%
	国内小計	1,488,864	94.3%	1,441,382	94.7%	-47,481	-3.2%
輸 出		73,992	4.7%	64,431	4.2%	-9,560	-12.9%
その他(損害保険代理店手数料/不動産賃貸収入)		16,113	1.0%	16,353	1.1%	239	1.5%
合 計		1,578,969	100.0%	1,522,167	100.0%	-56,802	-3.6%

※) フォックスファイヤーストア等の販売店は、「当社→小売店→消費者」に含まれます。

■ 月別売上高(2018年5月期)

(単位:千円)

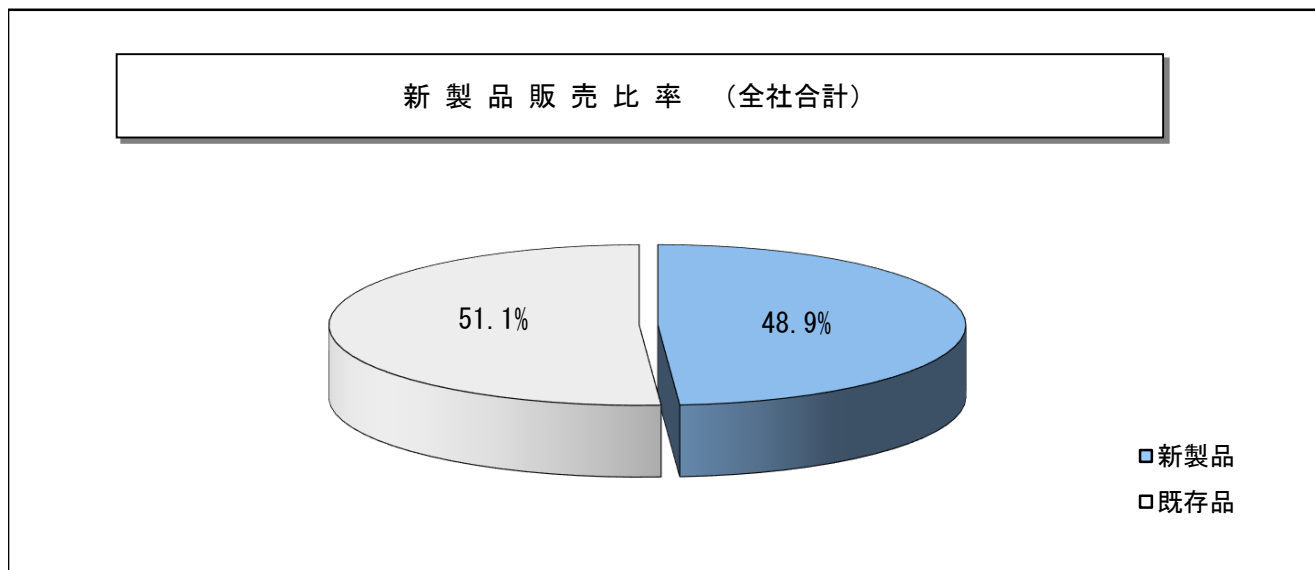
	売上高	構成比	前年同月比
12月	276,515	18.2%	6.2%
1月	241,229	15.8%	-7.9%
2月	166,625	10.9%	-5.6%
3月	227,289	14.9%	-15.6%
4月	305,283	20.1%	4.9%
5月	305,224	20.1%	-4.5%



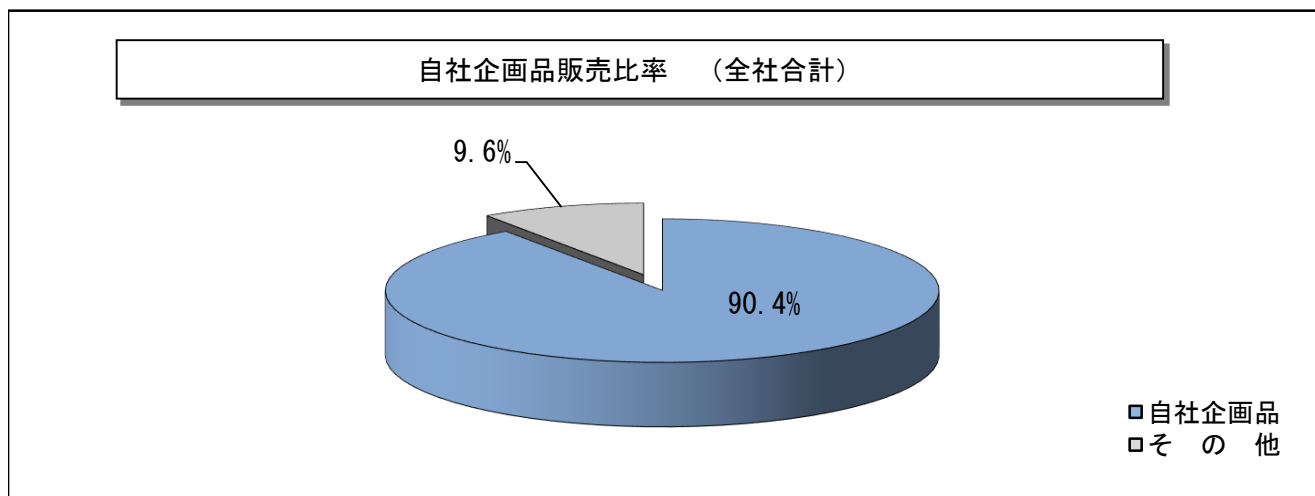
< 解 説 >

フィッシング事業は新製品効果がある月には前年を上回る一方で、市況低迷により前年を下回る月が目立ちました。アウトドア事業は冬季気温が前年より高く春季は気温が低めであったことに加え、店舗閉鎖等により前年を下回る月が見られました。

■ 新製品販売比率 (2019/5期)



■ 自社企画品販売比率 (2019/5期)



■ 輸出の状況

(単位：千円)

■ 輸入の状況

(単位：千円)

		2018/5期	2019/5期			2018/5期	2019/5期
売上高		1,578,969	1,522,167	仕入金額		923,705	1,036,796
輸出金額		73,992	64,431	輸入金額		119,134	137,680
輸出比率		4.7%	4.2%	輸入比率		12.9%	13.3%
輸出シェア	スリランカ	26.8%	スリランカ 15.8%	輸入シェア	アメリカ	64.6%	アメリカ 60.4%
	アメリカ	19.4%	中国 12.0%		韓国	14.0%	中国 17.7%
	スウェーデン	7.6%	韓国 11.5%		中国	12.3%	韓国 14.7%
	韓国	6.4%	アメリカ 10.5%		スウェーデン	3.6%	スウェーデン 4.4%
	タイ	4.8%	スウェーデン 6.7%		カナダ	1.7%	カナダ 0.9%
	スロベニア	3.7%	ドイツ 4.1%		パキスタン	1.3%	パキスタン 0.6%
	その他	31.3%	その他 39.4%		その他	2.5%	その他 1.3%

<解説>

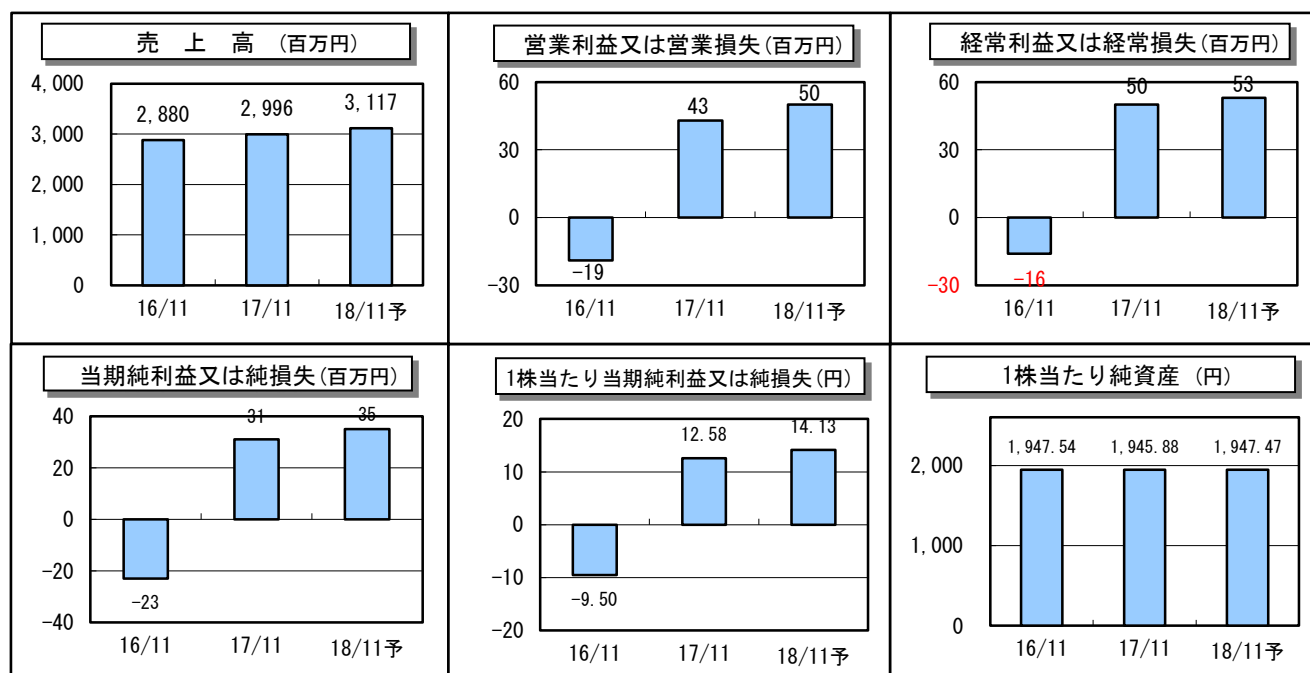
輸出については、中国において新規の取引の販売の増加があったものの、アメリカ、スリランカ等が前年堅調であった反動により販売が減少しました。輸入につきましては、仕入金額の増加に連動して輸入金額も増加しました。

業績推移と通期予想 ①



(単位：千円)

	第47期 (17/11期)		第49期 (18/11期)			第50期 (19/11期) 予想		
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比	前期比
売上高	2,880,920	100.0%	2,996,113	100.0%	4.0%	3,117,000	100.0%	4.0%
売上原価	1,580,277	54.9%	1,630,493	54.4%	3.2%	1,705,200	54.7%	4.6%
売上総利益	1,300,643	45.1%	1,365,620	45.6%	5.0%	1,411,800	45.3%	3.4%
返品調整引当金戻入額	28,551	1.0%	27,576	0.9%	-3.4%	32,533	1.0%	18.0%
返品調整引当金繰入額	27,576	1.0%	32,533	1.1%	18.0%	33,533	1.1%	3.1%
差引売上総利益	1,301,619	45.2%	1,360,662	45.4%	4.5%	1,410,800	45.3%	3.7%
販売費及び一般管理費	1,321,062	45.9%	1,317,255	44.0%	-0.3%	1,360,800	43.7%	3.3%
営業利益又は営業損失	-19,443	-0.7%	43,406	1.4%	—	50,000	1.6%	15.2%
営業外収益	3,314	0.1%	7,135	0.2%	115.3%	8,905	0.3%	24.8%
営業外費用	197	0.0%	70	0.0%	-64.5%	5,500	0.2%	7757.1%
経常利益又は経常損失	-16,325	-0.6%	50,472	1.7%	—	53,405	1.7%	5.8%
特別利益	7,700	—	18	0.0%	-99.8%	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—
税引前当期純利益又は純損失	-8,625	-0.3%	50,196	1.7%	—	53,405	1.7%	6.4%
法人税、住民税及び事業税	14,196	0.5%	21,088	0.7%	48.5%	21,530	0.7%	2.1%
法人税等調整額	705	0.0%	-2,057	-0.1%	—	-3,125	-0.1%	—
当期純利益又は純損失	-23,527	-0.8%	31,164	1.0%	—	35,000	1.1%	12.3%
純資産	4,823,171 千円		4,819,075 千円		—	4,823,000 千円		予想
発行済株式総数	3,339,995 株		3,339,995 株		—	3,339,995 株		予想
自己株式数	863,444 株		863,445 株		—	863,445 株		予想
期末株式数	2,476,551 株		2,476,550 株		—	2,476,550 株		予想
期中平均株式数	2,476,553 株		2,476,551 株		—	2,476,551 株		予想
1株当たり当期純利益及び純損失	-9.50 円		12.58 円		—	14.13 円		予想
1株当たり純資産	1,947.54 円		1,945.88 円		—	1,947.47 円		予想
1株当たり配当金	12.00 円		12.00 円		—	12.00 円		予想
当期末従業員数	71 人		71 人		—	72 人		予想
従業員1人当たり売上高	40,576 千円		42,198 千円		—	43,291 千円		予想
減価償却費	79,874 千円		72,331 千円		—	74,551 千円		予想
設備投資額	14 百万円		14 百万円		—	17 百万円		予想



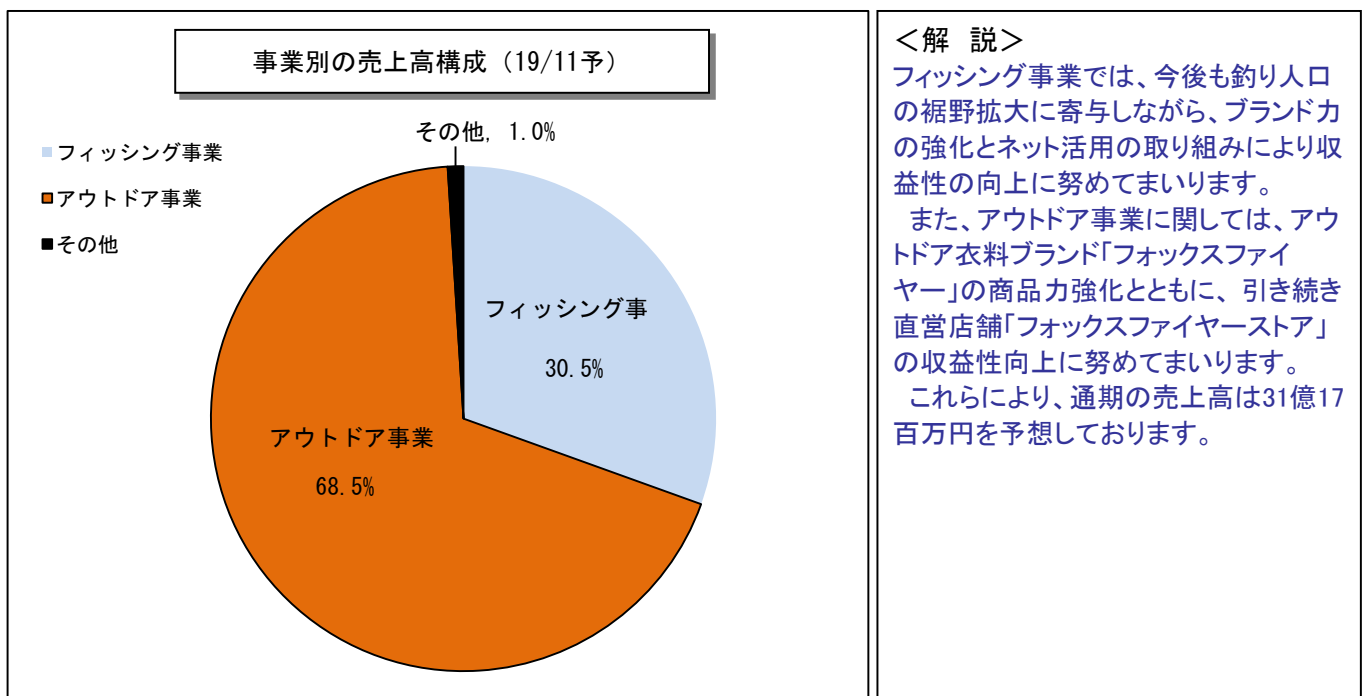
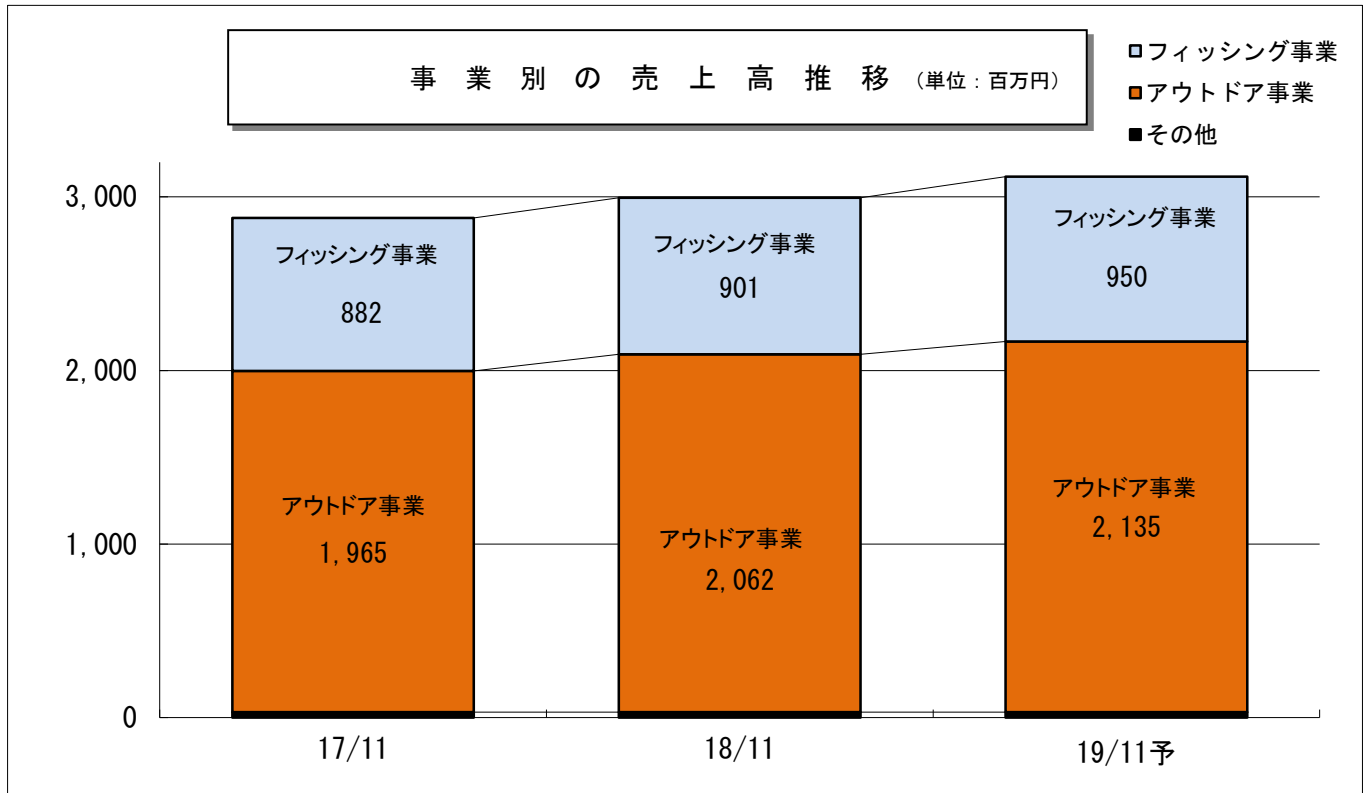
<解説>

国内における景気の先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。また、アウトドア関連産業におきましても、引き続き厳しい市場環境になることを想定しております。こうした外部環境の状況から、当社では規模の拡大よりも内容の充実に重点を置き、着実な収益の向上に努めてまいります。2019年11月期の売上高は31億17百万円を予想しております。また、利益面については、営業利益50百万円、経常利益53百万円を予想しており、当期純利益に関しては35百万円を予想しております。

■ 事業セグメント別売上高

(単位：千円)

セグメント	第46期 (17/11期)			第49期 (18/11期)			第50期 (19/11期) 予想		
	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比	売上高	百分比	前期比
フィッシング事業	882,776	31.6%	-0.1%	901,023	30.1%	2.1%	950,000	30.5%	5.4%
アウトドア事業	1,965,841	67.3%	-0.5%	2,062,737	68.8%	4.9%	2,135,000	68.5%	3.5%
その他	32,302	1.1%	5.6%	32,352	1.1%	0.2%	32,000	1.0%	-1.1%
全社合計	2,880,920	100.0%	-0.3%	2,996,113	100.0%	4.0%	3,117,000	100.0%	4.0%

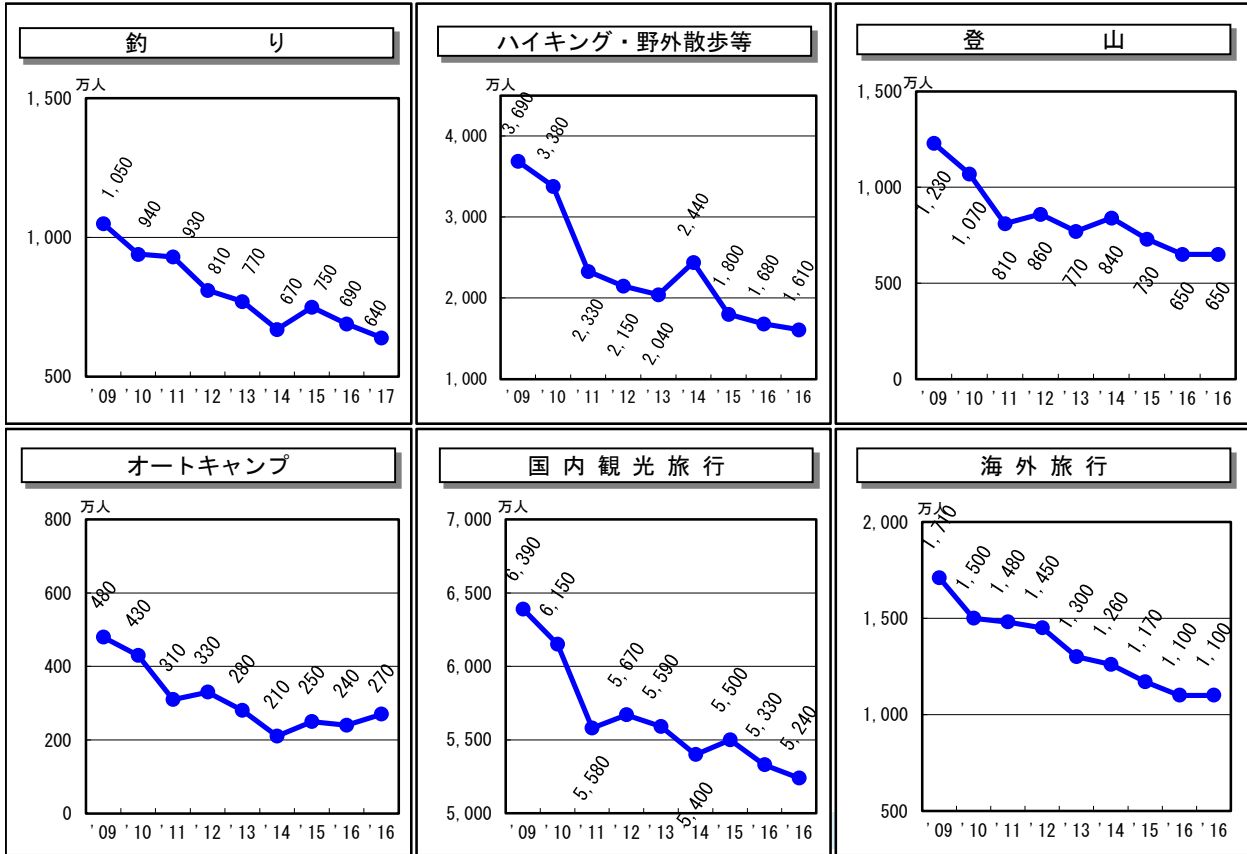


● 参加人口の推移

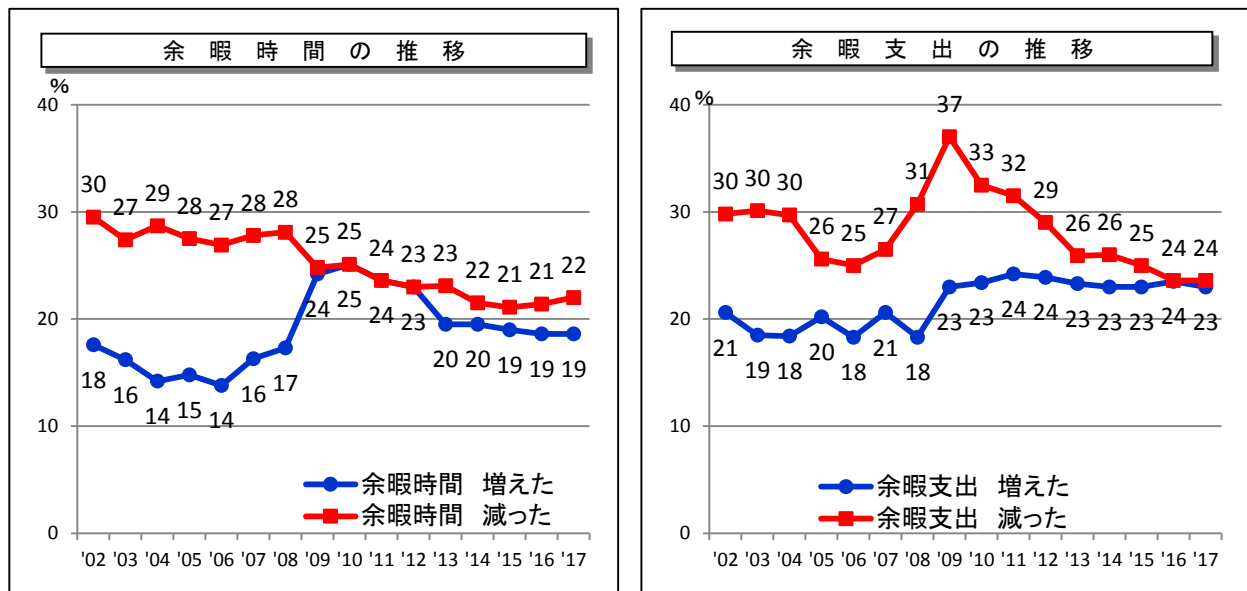
(単位：万人)

ジャンル	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
釣り (含ルアー・フライ以外)	1,050	940	930	810	770	670	750	690	640
ハイキング・野外散歩等	3,690	3,380	2,330	2,150	2,040	2,440	1,800	1,680	1,610
登山	1,230	1,070	810	860	770	840	730	650	650
オートキャンプ	480	430	310	330	280	210	250	240	270
国内観光旅行	6,390	6,150	5,580	5,670	5,590	5,400	5,500	5,330	5,240
海外旅行	1,710	1,500	1,480	1,450	1,300	1,260	1,170	1,100	1,100

出典「2018 レジャー白書」 財団法人 社会経済生産性本部 平成30年(2018年) 8月



● 余暇関連指標の推移



出典「2018 レジャー白書」 財団法人 社会経済生産性本部

出典「2018 レジャー白書」 財団法人 社会経済生産性本部

釣用品市場の動向



● 釣用品市場規模の推移

(単位：百万円)

年度	国内出荷市場			小売市場			出荷/小売 A/B
	金額 (A)	前年比	指標※	金額 (B)	前年比	指標※	
2008年	124,440	-	100.0	188,390	-	100.0	66.1%
2009年	124,270	-0.1%	-170	189,620	0.7%	1,230	65.5%
2010年	119,120	-4.1%	-5,150	180,840	-4.6%	-8,780	65.9%
2011年	111,650	-6.3%	-7,470	168,370	-6.9%	-12,470	66.3%
2012年	115,340	3.3%	3,690	173,620	3.1%	5,250	66.4%
2013年	121,130	5.0%	5,790	181,880	4.8%	8,260	66.6%
2014年	123,850	2.2%	2,720	185,610	2.1%	3,730	66.7%
2015年	127,530	3.0%	3,680	191,010	2.9%	5,400	66.8%
2016年	131,890	3.4%	4,360	197,200	3.2%	6,190	66.9%
2017年	135,200	2.5%	3,310	201,940	2.4%	4,740	67.0%
2018(見込)	136,600	1.0%	1,400	203,260	0.7%	1,320	67.2%
2019(予測)	140,710	3.0%	4,110	209,100	2.9%	5,840	67.3%

出典：「第22回 釣用品の国内需要動向調査報告書」社団法人 日本釣用品工業会 2019年1月

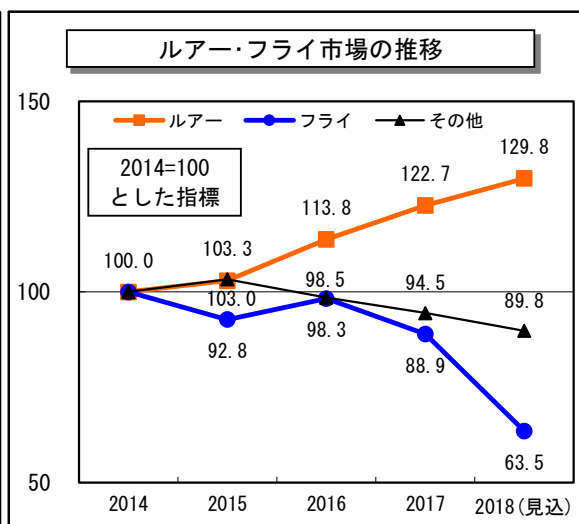
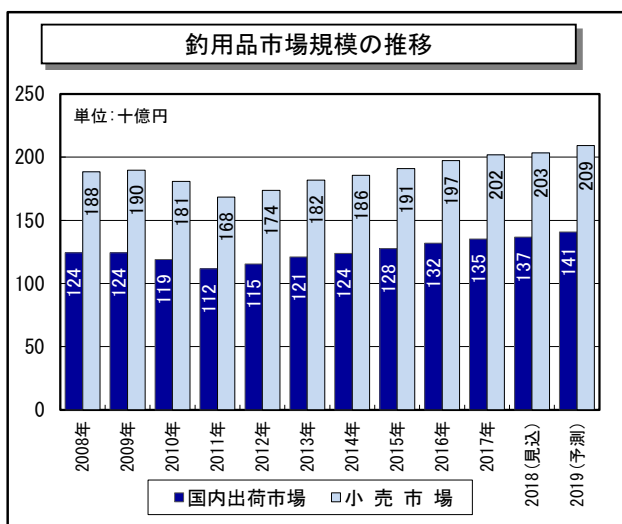
※指標は2008年を100とした場合の増減を表示しております。

● 釣種別国内出荷市場の推移

(単位：百万円)

釣種	2016		2017			2018(見込)		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	73,762	55.9%	79,564	58.8%	7.9%	84,141	61.6%	5.8%
フライフィッシング	2,103	1.6%	1,903	1.4%	-9.5%	1,359	1.0%	-28.6%
ルアー・フライ小計	75,865	57.5%	81,467	60.3%	7.4%	85,500	62.6%	5.0%
投げ釣り	4,346	3.3%	4,305	3.2%	-0.9%	3,933	2.9%	-8.6%
磯・波止釣り	21,332	16.2%	20,991	15.5%	-1.6%	19,620	14.4%	-6.5%
船釣り	17,023	12.9%	15,938	11.8%	-6.4%	15,721	11.5%	-1.4%
溪流釣り	2,303	1.7%	2,120	1.6%	-7.9%	1,992	1.5%	-6.0%
アユ釣り	4,988	3.8%	5,069	3.7%	1.6%	5,006	3.7%	-1.2%
ヘラ釣り	5,553	4.2%	4,760	3.5%	-14.3%	4,329	3.2%	-9.1%
その他	480	0.4%	550	0.4%	14.6%	499	0.4%	-9.3%
合計	131,890	100.0%	135,200	100.0%	2.5%	136,600	100.0%	1.0%

出典：「第22回 釣用品の国内需要動向調査報告書」社団法人 日本釣用品工業会 2019年1月



■ アウトドア用品市場

(単位：百万円)

分類	2016			2017			2018見込		2019予測	
	出荷額	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比	
※アウトドアウェア	94,430	105,380	11.6%	122,250	16.0%	130,420	6.7%			
※アウトドアシューズ	31,930	32,790	2.7%	34,350	4.8%	35,400	3.1%			
※ザック類	24,530	25,360	3.4%	26,270	3.6%	27,580	5.0%			
テント・タープ類	12,290	13,990	13.8%	16,090	15.0%	17,040	5.9%			
シュラフ	5,710	5,790	1.4%	6,720	16.1%	7,160	6.5%			
調理器具・食器類	6,740	6,850	1.6%	7,210	5.3%	7,570	5.0%			
テーブル・チェア	9,420	10,120	7.4%	12,210	20.7%	12,820	5.0%			
クーラー・ジャグ類	4,850	5,190	7.0%	6,090	17.3%	6,350	4.3%			
その他	18,390	18,710	1.7%	19,720	5.4%	20,580	4.4%			
合計	208,290	224,180	7.6%	250,910	11.9%	264,920	5.6%			

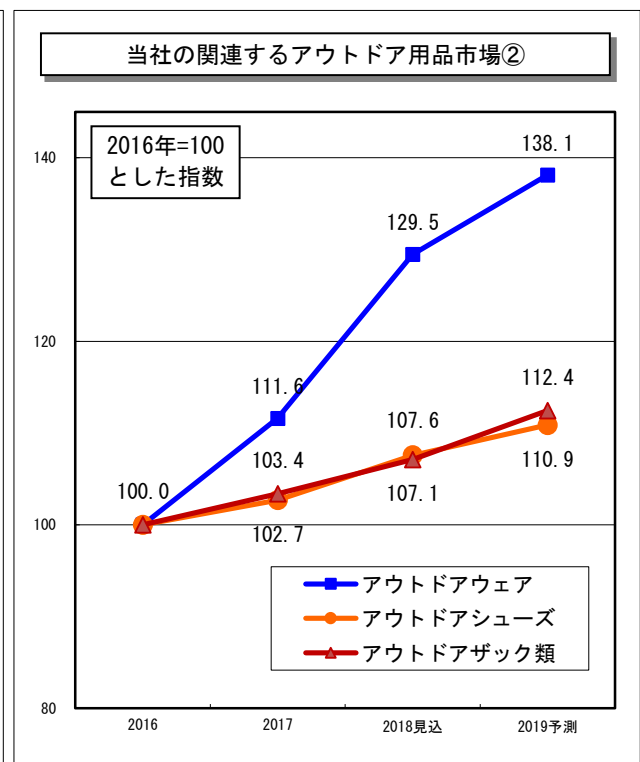
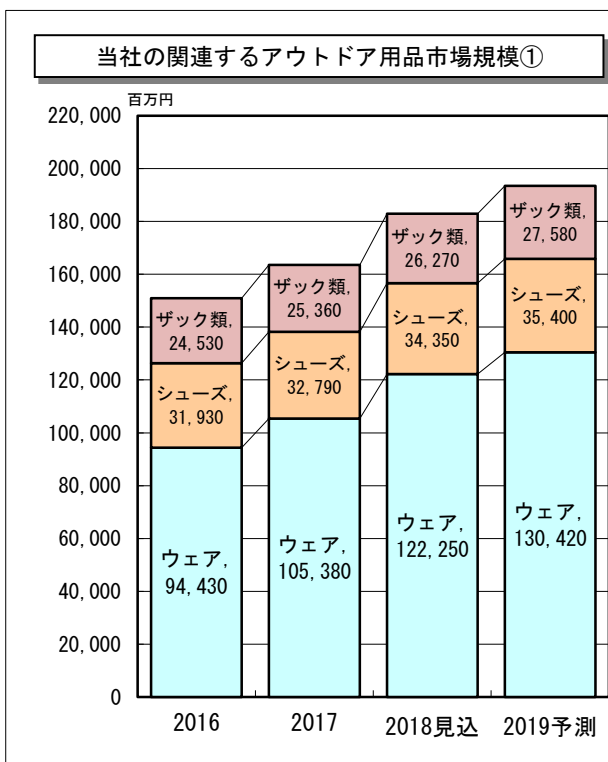
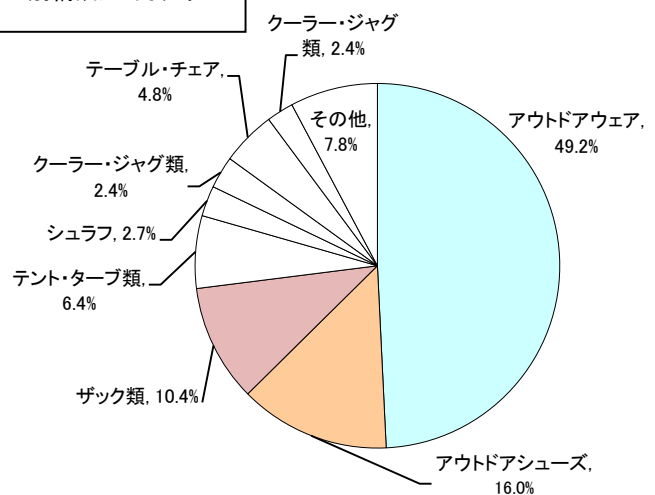
※ 当社の関連するアウトドア用品市場

■ ジャンル別 構成比 (2019年予測値より)

分類	構成比
※アウトドアウェア	49.2%
※アウトドアシューズ	13.4%
※ザック類	10.4%
テント・タープ類	6.4%
シュラフ	2.7%
調理器具・食器類	2.9%
テーブル・チェア	4.8%
クーラー・ジャグ類	2.4%
その他	7.8%
合計	100.0%

※ 当社の関連するアウトドア用品市場

ジャンル別構成比 円グラフ



出典「2019年版 スポーツ産業白書」株式会社 矢野経済研究所 2018年3月26日発行
 注) 見込値・予測値については実態と異なる場合があります。